

公表日

2025年 12月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 横浜吉野町教室

保護者等数(児童数) 34名 回収数 31件(割合91%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29			2	始めて体験で部屋の様子を見て十分なスペースだと思いました。	机を必要な時に出し入れし、活動スペースを広く使えるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1		3	活動の様子を知りたいです。早めのお迎えを頼まれる事もあり人数が足りていないのかなと感じる。他の事業所も見学に行きましたがその中でも一番、目で見て分かりやすい環境だなと思いました。	活動の様子はご見学に来ただければと思います。別室から見るのはできませんが、事前に伝えていただければいつでも可能です。17時の送迎で人が少くなることはございますが、療育時間が減ることはないようにしています。17時の時間厳守をお願いしております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	27		1	2	旧階段でのバリアフリーではない。	階段については変更できませんが、教室内部は段差がほとんどないように設定されております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30			1	とても清潔な感じがしたので子どもとても良いと思っていました。	清潔な環境を保てるよう、努めています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30		1		工夫して分かりやすく教えてもらっていると思う。 契約の時に色々とお話しを伺ってとても分かりやすく教えていただいたので安心して通わせています。	今後もご満足いただけるように努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1				お子様に合わせた、楽しいプログラムを提供できるよう努めています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1			支援計画も今、何が必要なのかを分かりやすく説明してくださったので私も他で説明する時にとても説明しやすいです。	保護者の方にも日常の様子やニーズをお聞きしながら、個別支援計画書を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	1		1		ガイドラインの内容を踏まえ、個別支援計画書を作成しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1			いつもありがとうございます	支援目標にあった支援を実施しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31				いつもありがとうございます楽しいプログラムを考えてくださっていると思います。	生活スキルに関するプログラム等は習得を目指して繰り返し行なっています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	2	7	12	幼稚園に通っているので子どもと活動する機会はあります。	地域の公園であったお子さんと遊ぶ等、少しの交流はございます。それ以外に関しては、ご希望に応じて増やすことを検討しています。

	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30		1	丁寧に説明いただきました。	契約時にご説明をさせていただいております。ご不明点はお声がけいただければ、いつでもお伝えいたします。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31			丁寧に説明いただきました。	内容について示し、ご説明しながら同意をいただくようにしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	8	13	研修会など参加したことがないがもし開催されるなら参加してみたい。そのような活動があるのか把握していません。	現在は行っていませんが、個別でのご相談は受け付けております。ご希望があれば外部の情報などありましたらお伝えさせていただきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30		1	いつもお迎えに行くのでその時に色々話を聞いています。	送迎時等でその日のご様子や支援についてお話をさせていただいております。その他ご相談ごとがありましたら、いつでも面談等でお話をさせていただきます。
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1	2	行われています。 一部されていない人がいる。	支援計画更新のため、半年に一回は面談をさせていただいております。その他、ご要望に応じて面談をしたり送迎時にお話をさせていただくこともあります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30		1	お迎えの時に話ををしていて、共感的に感じます。	受け入れの時間、帰りの時間などお時間多くは取れませんが、ご家族に寄り添った支援を行っています。事前にお伝えいただければ、長めにお時間を取ることも可能です。お気軽にお声がけいただけるよう周知して参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	11	13	そのようなイベントの開催があるのは知らないです。	父母の会等は行っていませんが、今後開催を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25		6	そのような相談をしたことがないので把握はしていませんでした。	受け入れの時間、帰りの時間などお時間多くは取れませんが、ご家族に寄り添った支援を行っています。事前にお伝えいただければ、長めにお時間を取ることも可能です。お気軽にお声がけいただけるよう周知して参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30		1	以前、連絡ノート記入時、何も返ってこず、送り時本人の前で話しづらく、相談・連絡をあきらめることがある。	確認ミスがあり、申し訳ございません。ダブルチェック等実施しながら漏れがないように努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31			発信されています。	新聞を月に1回、SNSやブログ等も行っています。自己評価はHPで開示しておりますので、ご覧ください。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1	1	情報の取り扱いは大丈夫だと思います。	個人情報に関する書類は鍵のかかる書庫にしまっております。日々の書類等破棄する際にはシェルッダーにかける様にしております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29		2	訓練されているのかは把握していません。	それぞれのマニュアルを用意し、必要な訓練等を行っております。保護者の方にも周知ができるよう、情報発信をしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29		2	把握していません。	毎月1回は避難訓練を行っております。プログラムにも記載しておりますので、是非ご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30		1	把握していません。	安全計画を作成し、計画に基づいて備品等の確認や研修等を行っております。保護者の方に周知できるよう方法を検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26		5	以前、少しづつけた時にしっかり説明くださったときがあったのでされていると思う。	軽微な怪我等を含め、何かあった時には保護者の方にお伝えするように努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	1	1	安心感をもって通っています。	今後とも安心して過ごしていただけるよう努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	2		いつも今日はごはんだと伝えると、嬉しそうに仕度をして、終わってからも翌日もごはんに行きたいと言っています。内容による	動機の上がらないプログラム等もあるかとは思いますが、毎日楽しく通っていただけるように工夫していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	1	いつもありがとうございます。一部。満足しています。	今後もご満足いただけるよう支援の向上、保護者の方との連携に努めてまいります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

2025年12月20日

事業所名

こばんはうすさくら 横浜吉野町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		プログラム等で若干狭く感じることがあるが、玩具や椅子の位置を移動しスペース確保できている。	大きく走ったりするスペースはないので、必要に応じて公園等に出るなどの工夫が必要。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		急な休みの時など職員の数が多くなる時がある。マンツーマン対応が多い日は職員の配置を多めに取り、安全に見れるようしている。定められた配置数は満たしている。	急な欠席によって一時的に職員が少なくなることはあるが、放課後等デイサービスと児童発達支援の職員で補いながら日々の支援ができている。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		子どもに分かりやすく視覚化されていると思う。マットによる色分けや仕切りパーテーションがあり、子どもの状況に応じて環境設定ができている。2階ではあるが、部屋のまさに段差はない。	お子さんの要求に応じて必要な配慮を行う必要がある。支援を手厚くするだけではなく、お子さんによってはより社会に近い状況を作っていく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		玩具や教室の消毒がきちんとされていて良いと思う。日頃から玩具の消毒や清掃が丁寧に実施されています。	清潔を保てるように清掃を行っている。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	必要に応じて廊下を使用したりパーテーションを用いたりしている。クールダウン室やパーテーションで区切って落ち着ける空間を作っている。	状況に応じて面談室やクールダウンの部屋、廊下、事務室などを活用していく工夫はできる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		目標を個別用紙に反映し、共有できるようしている。また、その日の振り返りで進捗を確認している。	常勤のミーティングは月に1・2回実施。非常勤への周知等図れるよう、昼礼などで伝えていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表を回収し、全体ミーティングで改善案を話し合い、活かそうとしている。	自己評価は集計後、回答をお配りし、HP上で公表している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的な面談が行われていて業務改善を進める土台がある。月に1回はミーティングを行っている。ミーティングで困ったこと、気になることを出し合って話し合っている。	ミーティングや朝礼、振り返り、面談等で意見を伝える場を作っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		第三者委員は使っていませんが、必要に応じて使用を検討してきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修の案内や動画研修を行っている。定期的に映像等で研修を実施している。	本部からの研修や教室での実習を行っている。外部研修の案内がある時には掲示をしてお知らせしている。

	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		いつでも確認ができるようになっています。毎日工夫があるプログラムが複数の職員の提案で実施されています。半年に一回更新し、家族に説明をした上でコピーをお渡ししている。	プログラム作成にはいろいろな職員が関わり、保護者様には毎月配布をしている。HPで公表も行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		アセスメントを取り、こどもと関わって必要なことを計画書に入れている。面談で話したことミーティングで共有し、その上で計画書を作成している。	アセスメントを行った上で、支援計画を作成している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		スタッフ同士でカンファレンスを行い検討をしている。毎日の振り返りで個々の子どもが抱えている課題について話し合っています。立てた目標が達成できているのか、他職員にも聴取し、意見を反映させて作成している。	カンファレンスを行い、お子さんの現状や目標の確認等を行っている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		作成後に内容を確認、ミーティングで共有している。	連絡帳記入の際にも、個別支援計画を見ることができるツールを使用している。
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントシートだけでなく、あそびやお友達との関わり、生活動作等、普段の子どもの様子を観察し、記録している。	学習状況の記録や、アセスメントツール、行動観察などを使用してアセスメントを行っている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	就学に向けた課題を具体的にあげ、支援目標を立てている。	ガイドラインに沿って支援計画書を作成している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		毎月スタッフ全員で提案している。	職員間で相談したり、案を出し合いながら実施している。非常勤も参加できるようになっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		ほぼ毎日違うプログラムを行っている。季節の行事を入れる様になるべく彼らないように工夫している。	人気のあるものや必要に応じて同じプログラムを行うことはあるが、その日の利用メンバー等を考慮しながらプログラムを作成している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別と集団を適切に組み合わせていると思う。	個別と集団と組み合わせて支援計画書を作成している。専門的支援目標も同様となっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝のミーティングなどで行っている。	朝礼や昼礼を実施し、その日の支援内容等を話し合う時間を作っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		午前、午後、1日の日はその日の終わりに振り返りをする機会が設けられている。児童送迎後に振り返りを行い日報で共有している。	送迎後などに振り返りを行い、その日のお子さんの様子や支援について話し合う時間を作り、記録を残している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		普段の支援の中で気が付いたことなどをスタッフと共有し、改善策を考えている。学習やプログラムの記録を毎日残し、次回利用時に活かしている。日報や学習記録で残し、それぞれ改善につなげている。	学習記録、振り返りの記録等を残し、支援計画のモニタリング等に繋げている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		更新時にモニタリングを行い、その都度気が付いたことを話し合い見直している。児発管を中心に見直しを行っている。	半年に1回以上のモニタリングを実施し、次の目標設定に繋げている。

	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		責任者等が参加している。必要に応じて参加できていると思う。	担当者会議では児発管や管理者が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	担当者会議が実施される場合は参加し、連携が取れていると思う。	他事業所と利用状況や支援状況の情報共有を行うことがあったり、保育園・幼稚園送迎時に簡単な情報共有を行っております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	必要に応じて連携を取りながら情報共有を行っていると思う。それぞれの関係機関での様子や支援方法などを送迎時に引継ぎや共有を行ったり、連絡をとったり担当者会議を行ったりしている。	相談支援を通じて保育園と連携を取ったり、保護者のご要望に応じて幼稚園へ見学に行かせていただいたりしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	いつでも情報共有が出来る様になっていると思う。必要に応じて連携を取りながら情報共有を行っていると思う。	必要に応じて小学校に情報を提供しています。
関係機関や保護者との連携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	センターとの連携は取れている。助言等も受けられていると思う。	療育センターの相談支援員との連携や見学会の参加等を行っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4	4	公園等外出の際に地域のこどもと関わる機会を作っている。地域の公園での交流や町内の祭り等への参加機会はある。	地域のお祭りに参加をする、公園へ遊びに行くなどを行っています。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		保護者に日頃から活動についてや発達についても共有ができると思う。連絡帳や送迎時に保護者に伝えている。送迎時には必ず子どもの様子を共有している。	利用日には情報共有を行うとともに、必要に応じて電話やHUGを通じてお話しをさせていただくこともあります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	相談などある時に情報提供をしている。	現在は行っていませんが、個別でのご相談は受け付けております。ご希望があれば外部の情報など入りましたらお伝えさせていただきます。

	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		管理者が契約時や面談時に説明していると思う。	契約時にご説明をさせていただけます。ご不明点はお声がけいただければ、いつでもお伝えいたします。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談の時などに確認をしている。困っていることを聞き取り、課題点を説明し、意向を確認している。	個別支援計画書作成前に意向の確認等を行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		支援内容の説明を行い、同意してもらっている。目標を説明し、支援内容を説明した上で同意のサインをもらっている。	内容について示し、ご説明しながら同意をいただくようにしております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		その都度相談にのり、必要な支援や助言がされている。フィードバックの時に家で困っていることを聞き取り、アドバイスをしている。定期的な面談や、相談があれば都度対応している。	気になることがあったら事前にお伝えいただければ、いつでもお話しすることが可能です。
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		父母の会等は行っていませんが、今後開催を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談や申し入れがあった際、迅速に職員間で共有し対応している。	苦情があった時にはマニュアルに従い、迅速に対応できるように努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		写真付きの新聞を出したたりSNSに写真をアップしたりして活動が分かるようになっている。SNSやブログ・インスタを活用し、積極的に保護者に発信している。	新聞を月に1回、SNSやブログ等も行っています。自己評価はHPで開示しておりますので、ご覧ください。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		返却物等は必ずチェックして入れ違いがないように留意している。個人情報の書類は鍵付きの棚で保管し、取り扱いに注意している。	様々な書類に関しては5年間保存をしています。普段は鍵の付いた棚にしまった個人情報の取り扱いに気を付けております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		必要に応じてひらがなで連絡帳を入力したり、視覚支援（イラストやスケジュール等）を取り入れている。なるべく伝わりやすい伝達を心がけている。	こどもの意思疎通のために絵カードや文字を使ったり、保護者との情報伝達でHUGやお電話、それ以外も翻訳ツールを使うなど工夫しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	事業所への招待はないが、町内の祭り等への参加等で交流がある。	教室を開いて招待することはできません。地域のお祭りに参加をしたり、地域のお店に買い物にいくなど工夫をしています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルや研修動画は職員に周知されており、マニュアルも目につきように壁に貼られている。職員間で周知し、研修・訓練を実施している。	マニュアルは策定し、訓練や研修を行っています。保護者に周知ができるよう、新聞に載せるなど検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	避難訓練を毎月行えている。	BCPを策定し、避難訓練や研修等を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		事前に確認はするが、該当する児童がいない。契約時に確認されている。	契約前に確認を行っております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		事前に確認し、全体に共有されている。アレルギーのある子を職員が見えるところに掲示されている。それぞれ児童に合わせた対応をしている。	契約前に確認を行っております。お子さんの状況に応じて除去をしたり、ご家庭からおやつを持ってきていただく、食育前に確認をするなどをしていきます。
非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	年間スケジュールに沿って研修訓練を行っている。	安全計画を作成し、その年に必要な訓練・研修を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	契約時、手紙等で説明している。	安全計画を作成し、その年に必要な訓練・研修を行っています。保護者への周知ができるよう、新聞に掲載するなど検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		毎日の振り返りで出来ている。毎日の振り返りでヒヤリハットがあるか確認。あった場合は対応の検討をしている。再発防止に努めている。	毎日の振り返りでヒヤリハットを作成し、その都度対応について検討をしております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年に1回の研修を実施している。日々児童の体に変化がないか確認している。定期的な研修の機会がある。	虐待防止の委員会や研修を行っております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	保護者に説明した上で同意書にサインをもらっている。	身体拘束が必要な方については、組織的に決定し、事前に説明・了承を得ています。